

— 病気を抱える子どもたちの不安 —

病気だから
家族やきょうだいにも
迷惑かけちゃってる。

自分は
悪い子なのかな？



学校の先生や友達に
病気のこと言ったら、
どんな風に思うかな？

仲間外れにされないか
心配だなあ。



入院中に進んだ
授業がわからないから
宿題も解けないよ。

明日、学校へ行くの
不安だなあ。



■岡山市にお住いの方を対象とした相談窓口

岡山市保健所 健康づくり課 特定疾病係
〒700-8546 岡山市北区鹿田町一丁目1番1号
電話：086-803-1271

小児慢性特定疾病医療費助成制度や、日常生活や療養生活、
学校生活、就労などに関するご相談を受け付けています。



■認定NPO法人ポケットサポート

(岡山市より小児慢性特定疾病児童等相互交流支援事業を受託)

住 所：〒700-0905
岡山市北区春日町7-21
春日第2フォートレス103号室
電 話：086-289-8528
メール：info@pokesapo.com
WE B：https://www.pokesapo.com



病気と共に生きる 子どもを支える

— 誰もが助けてと言える社会に —

治療も勉強にも一生懸命な
子どもたちが教えてくれる

『本当の気持ち』



病気を抱える子どもたちが
安心して交流や相談できる場所

ポケットスペース

岡山市小児慢性特定疾病児童等相互交流支援事業により、
認定NPO法人ポケットサポートが制作しました。

岡山県内には病気やケガを理由に長期欠席している小学生～高校生は約1,000人います。

令和4年5月現在の児童生徒数は198,939人（令和4年度学校基本調査）

約200人に1人の子どもたちが病気療養を続けながら治療と勉強を頑張っています。



学校ごとに1～3人の子どもたちがいます。



小学校に
1.2人



中学校に
1.5人



高等学校に
2.8人

保護者から寄せられる様々なご相談

学校の先生や友達には病気のことや配慮してほしいことどうやって説明したらいいの？みんなどうしてるのかなあ…



将来、大きくなって大学受験や就職、ひとり暮らしができるか心配だなあ？

学校生活や治療で困ったときどこに相談したらいいの？

同じような病気で治療中のご家族と話したいなあ。

ご家族や学校の先生方から、毎年約60件の様々なご相談を電話やメールで受けています。

各地域の保健所や教育委員会と連携しながら、少しでも不安解消できるようにサポートした事例が多数あります。



ー ポケットサポートによる支援 ー

岡山県内を中心に慢性疾病を抱える小学生から高校生とその家族を対象に、保健所や教育委員会と連携しながら、入院治療中から自宅療養中・退院後も含めて切れ目のない継続的な支援活動を行っています。



支援拠点で同世代と交流



オンラインでの交流



小児病棟へオンライン支援



オンラインでの学習支援

個別のご相談は幼少期に病気療養経験のある支援員が対応しています。いつでも安心してご連絡ください。



保護者Nさん

季節の交流イベントに参加することで、様々な話を聞いたり、体験ができたりして娘も少しずつ前向きになれています。将来は娘も病気を抱える子どもたちに、楽しくて元気になれる活動をしてあげたいそうです。ありがとうございます。



保護者Kさん

コロナ禍で感染が怖くてなかなか外出もできず、制限も多いためお家時間が増えていますが家族で交流イベントを楽しみにしています。同じような病気の皆さんの顔が見れたり、会話できる機会があることで、仲間の応援が励みになっています。

ー 相互交流支援事業について ー

この事業は長期にわたり療養を必要とする子ども同士の交流や、ボランティア等と交流・学習支援、ピアサポート相談の機会を作ることにより、情報交換やコミュニケーション等の向上による社会性を育み、子どもたちの健全育成と自立促進を図ることを目的として実施しています。